

～いつもありがとうございます～

紅葉の候、雲南市ファミリーサポートセンター会員の皆様方におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。平素より、ファミサポ事業に対しましてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

お陰様で会員数が400人を超えました。掛合支部は、毎年の5月号での事業報告に入っていませんが、掛合支部の会員数を加えると、雲南市全体で450人を超えています。ひとえに皆様方のお陰と感謝いたします。また、実動していただいている援助会員さん方には、積極的に講習会にご参加いただき、安心・安全な援助活動に努めていただいております。心から感謝申し上げます。

～ご存じでしたか？ 野菜の花言葉～

9月のある日、尊敬する恩師の先生ご夫妻が来てくださいました。種から大事に育てられた立派な野菜の苗を惜しげなくたくさん持って来てくださり、手入れの方法もご指導くださいました。その時に教えてくださったのが「野菜の花言葉」です。「ジャガイモの花言葉は慈愛」と教えてくださった時、「野菜にも花言葉があるんですか?」と、思わず言ってしまいました。なんと野菜にも花言葉があるなんて!!と感動したのでした。その後も「トマトの花言葉は感謝」「サツマイモの花言葉は幸運」と、気にかけて伝えてくださっています。

先生は、野菜の花言葉を紙に書いて貼り、ひと月の間眺めてその言葉を日々意識しながら過ごされるそうです。早速、真似っこすることにしました。花言葉から自分のイメージを良い方に広げていくと、気持ちが明るくなったり、元気が出たりするような気がします。まさに言葉の力!!また、料理を作る時、野菜に伝えたいメッセージを込めて使うのも、自分の密かな楽しみになると思いました。(たぶん、黙っていられないと思いますが・・・)

野菜の花言葉に興味を持ち調べてみて、素敵!と思った花言葉は、枝豆の「幸せは必ず訪れる・和睦」、意外と思ったのは、里芋の「愛のキラメキ」とナスの「希望・良い語らい」、納得と思ったのは、ゴーヤの「強壮」、ニンニクの「力と勇氣」です。面白かったのは、ゴボウの「人格者」・「いじめないで」とオクラの「恋によって体が細る」でした。(花言葉はひとつのものもありますが、2~4つあるものもありました。)秋も深まって、里芋や大根がおいしい季節になりました。私は里芋が大好きなので、たくさん食べて「愛をきらめかせ」たいと思います。

雲南市ファミリーサポートセンター

あ り が と 通 信

No.67 (R5年11月発行)



センター開設日：月～金

開設時間 (大東本部) 9:00~18:00
(木次支部) 9:00~17:00
(加茂支部) 9:00~17:00

電話・担当 (大東本部) 0854-43-6132 原
(木次支部) 0854-42-2030 深田 佐藤
(加茂支部) 0854-49-8355 青木 小村
子ども政策課 0845-40-1044 郷原

【援助会員養成講習会（赤ちゃんとのかかわり方講習会）の報告】

日時：6月21日（水）9：30～11：00

場所：斐伊交流センター プレイルーム

講師：雲南市役所 健康推進課

陶山保健師・窪田助産師・増原管理栄養士

参加者：実動援助会員7名



内容：○赤ちゃんの発達とかかわり方のポイントを学ぶ

（生後3か月前後から1歳6か月まで）

○人形を使ってやってみよう

- ・赤ちゃんの抱っこ（首が座るまでの赤ちゃん）
- ・オムツの替え方、洋服の着せ方
- ・ミルクの飲ませ方、排気のかた
- ・寝かせ方（背中スイッチ対処法）
- ・水分補給や離乳食について

授乳時の体勢や哺乳瓶の角度



授乳後の排気のさせ方



背中スイッチ対処法



布団に降ろした時、体をくっつけしばらくそのまま・・・安心してスヤスヤ寝てくれます



寝かせ付け・布団におろそうとすると起きて泣いてしまう時、バスタオルを丸めて、このようにして寝かせると背中が丸まって安心できるそうです。

背中を丸めるように抱っこすると赤ちゃんは安心するそうです。



みなさん、和気あいあい実習を楽しんでいらっしゃいました。次のような感想がほとんどでした。赤ちゃんの人形を使って実習ができ、また、新しい情報もわかって良かった。水分補給のこと、食べさせ方のペースや大きさのことが聞け、預かりの子に安心して弁当を食べさせることができる。など

【事故防止講習会 ～事故やヒヤリハット事例の背景要因なぜなぜ分析と対策検討～ の報告】

日時：7月18日（火）9：30～11：30

場所：斐伊交流センター会議室

参加者：援助会員8名

企画・進行：ファミサポスタッフ



内容

- 事故やヒヤリハット事例の通読
- なぜなぜ分析の仕方についての説明
- 分析の5つの視点について、具体例の通読
- グループでの話し合い
 - ・5つの視点から「なぜ起こったか」について分析し、シートに記入
 - ・分析した「なぜ起こったか」の中から、対策ができそうなものを選んで検討し、シートに記入
 - ・グループごとに発表

今回は、「送迎時、子どもがキーホルダーに興味を持ち欲しがってやんちゃを言ったためキーごと渡した。その後子どもを降ろすために援助会員が車から出た時、子どもがロックをかけてしまって炎天下の中で30分ぐらい閉じ込められてしまった」という事象事例を使って「なぜ事故が起きたのかの分析」と「事故が起きないための対策立案」をしました。

みなさん、グループでの話し合いの中でたくさん意見を言われ、和やかな中にも事故防止に対する真剣さが伝わってきました。次のような感想をいただきました。

- ・事例のような事故が起きるなんて想定していない。実際にあった事例を知ることができて、対策も話し合えて良かった。日頃から気をつけなくては！
- ・しっかりと話し合いができて勉強になった。気づきも大切だし、実際に起こった時の対応も確認していかないといけないと思った。
- ・いろいろな人の意見を聞くことができ、自分でも「気づき」があり、とてもためになった。参加する意義が十分にある良い機会だった。
- ・研修会では、人の言ったことが記憶に残る。他の人が自分の気づかないことを言ってくれるので研修は大切。
- ・日頃の活動の中で、ヒヤリとする小さなことはある。それを簡単に書いておくようにすると良い。

今回の研修を今後活かすために・・・（「定期的にヒヤリハットの事例を聞きたい」というご意見もありました）

- ・活動の中でヒヤリハットがあれば、こまめにセンターへ報告してもらおう。
- ・報告があったらセンターでまとめ、「雲南市ファミリーサポートセンターヒヤリハット報告書」に記入しておき、援助会員の「情報交換会」（交流会）にて、ヒヤリハット事例の報告をし、対策について話し合う機会を持つ・・・をすることにしました。

【援助会員養成講習会（配慮を要する子どもとのかわり方講習会）】 / 【緊急救命講習会】



日時：5月30日（火）9：15～10：40
 場所：斐伊交流センター 多目的ホール
 講師：雲南消防本部 救急救命士（濱田さん）
 参加者：6名

【内容】

- 心肺蘇生法の講義と実習
- AEDの使用方法について
- 気道異物の除去法について
- 質疑応答（たくさんの質問ができました）

日時：5月23日（火）
 9：30～10：30
 場所：斐伊交流センター プレイルーム
 講師：子ども家庭支援センター長 長澤先生
 参加者：実動援助会員7名

【講義内容】

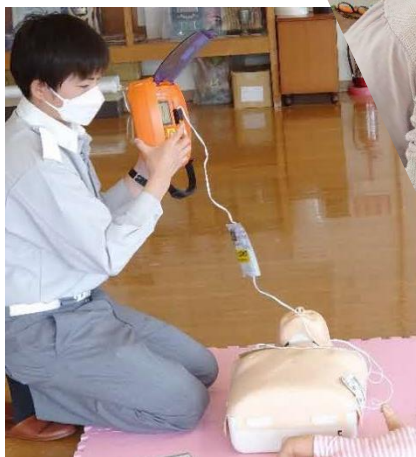
- 理解と支援について
 - ・子どもとのかわり方で大切にしたいこと
 - ・配慮を要する子どもとのかわり方
 - ・「ほめる」と「しかる」のコツ
 - ・保護者とのかわり方 など
- 質疑応答

【感想】

- ・困っていることを直接自分の言葉で相談でき、聞いてもらえたことで安心した。子どもにかかわる時に役に立つ、とても有意義な講習会だった。
- ・先生のアドバイスを参考にして、前向きなかわり方ができると思う。



雲南消防ユーチューブ動画配信があるとのこと。ぜひ、ご覧ください。



押す場所や力の入れ方など、一人一人に丁寧に指導していただきました

【感想】

- ・いざとなったら行動できるか自信はないけど、きっとポイントが甦ると思う。受講して良かった。
- ・心肺蘇生法の実習は、力の入れ方が難しかった。体力が必要。気道異物の除去法はよく分かった。
- ・自分が心配していたことが聞いて安心した。

サポート中の緊急対応 (援助会員用)

緊急を要する場合 (送迎時)

1. 救急車 (119 番) を呼ぶ 【伝えること】

- 自分の名前、所在地 (目標物)
- どのような事故か? (車同士・人・単独)
- 子どもの名前と年齢
- 意識や呼吸、ケガの状態

※ 110 番通報を救急隊にお願いします

2. ファミサポ大東本部 (43-6132) へ連絡する

「ファミサポ送迎中の事故です」と伝える

- 上記の内容を伝える
- 救急車の要請、110番通報について伝える

3. 救急車に乗り、子どもと一緒に病院へ行く

- 救急車の到着までの間、応急手当をする
- 病院で子どもに付き添い、保護者の到着を待つ
子どもの保護者に事故の状況とケガの状態を説明する
- ファミサポ大東本部担当者、子ども政策課担当者に状況を説明する

○ 平日のファミリーサポートセンター開設時間 (9:00~18:00) 内の事故は、
ファミリーサポートセンター大東本部 (43-6132) へ連絡してください

「ファミサポの援助活動中の事故です」と伝えてください

○ 開所時間外 (土・日・祝日・夜間・12月29日~1月3日) の事故は、

雲南市役所 (40-1000) へ。夜間休日警備員より、子ども政策課につなげます

「ファミサポの援助活動中の事故です。子ども政策課につないでください」と伝えてください

緊急を要する場合 (自宅預かり時)

1. 救急車 (119 番) を呼ぶ 【伝えること】

- 自分の名前、自宅の住所
- 子どもの名前と年齢
- 事故の状況とケガの状態、または、病気の状態

2. 応急手当をする (救急隊の指示に従う)

※ 家の薬や市販薬は使用しない

3. 子どもの保護者 (依頼会員) に連絡をする

- 事故の状況、または、子どもの様子
- 救急車を要請したことを伝え、病院へ向かってもらうようお願いをする

4. ファミサポ大東本部へ連絡をする

5. 救急車に乗り、子どもと一緒に病院へ行く

- 保護者に事故の状況とケガの状態、または、病気の状態を説明する
- ファミサポ大東本部担当者に状況説明をする

緊急を要しない場合

送迎・・・子どもが乗っていない時や軽い接触事故などでケガのない時

1. 警察 (110 番) に連絡する
 2. ファミサポ大東本部へ連絡する
 3. 事故の相手方の確認をする
- ※ その場で示談をしない

自宅預かり・・・

1. 子どもの保護者 (依頼会員) に連絡する
 - 事故の状況とケガの状態、病気の状態等を伝える
 - 迎えをお願いし、子どもを引き渡す
2. ファミサポ大東本部へ連絡する (休日の場合は、後日の聞き取りになる)

○ 事故発生時には、ファミサポ大東本部担当者と子ども政策課担当者が、病院または、事故現場に向かいます

○ 子どもの状態が少しでも心配な場合は、
救急車を呼んでください

利用中の緊急時に備えて・・・依頼会員さん、援助を提供される会員さんへのお願い

援助活動中の「緊急対応フローチャート」の見直しに当たり、今後、利用される際と、援助を提供される際に下記のことをお願いしたいと思います。お陰様で今まで、雲南市ファミリー・サポート・センターの援助活動中の事故はありません。援助を提供して下さる会員さんが安全な援助活動をいつも心がけてくださっているお陰だと感謝しています。もしもの時にも、対応の流れが頭に入っていれば慌てずに行動できると思われまので、フローチャートとお願い事項の確認をよろしくお願いいたします。

【依頼会員さんへ・・・利用される際のお願い】

- 今までも利用される時に会員さんの緊急連絡先をお聞きしていましたが、今後は、当日の行先や職場など必ず連絡が取れるところの電話番号もお知らせいただくようにしたいと思います。緊急の事態が起こった時、確実に連絡が取れ、素早い対応ができるようになるためですので、ご了承ください。
- ファミサポ利用中には、携帯電話のチェックをしたり、ファミサポ大東本部や支部からの電話には必ず出る、または、すぐに折り返し電話をするなどしていただきますようお願いいたします。

雲南市ファミリーサポートセンター大東本部
(0854-43-6132)
木次支部（木次子育て支援センター）
(0854-42-2030)
加茂支部（加茂子育て支援センター）
(0854-49-8355)

【援助を提供される会員さんへのお願い】

- 援助活動を行う際には、自分の電話番号だけでなく、確実に連絡の取れる方の連絡先もお知らせいただきますよう、お願いします。
- 緊急を要することが起こった場合には、ファミサポ大東本部や支部から電話が入ることを、ご家族や緊急連絡先になっている方に知らせておいていただきますようお願いいたします。
- ご家族の方、緊急時に連絡の取れる方にも下記の電話番号をお知らせください。

雲南市ファミリーサポートセンター大東本部
(0854-43-6132)
雲南市役所 夜間休日警備員
(0854-40-1000)

送迎の援助活動における活動報酬変更についてのお知らせ

「ありがと通信5月号」にてお知らせしていただきましたように、送迎の場合、10月分から、移動距離（援助会員が自宅を出る～依頼のあった送迎～援助会員の自宅に着くまで）×1キロ当たり24円の実費（ガソリン代）が加算されます。よろしくお願いいたします。